

	学校自己評価総括	改善策	学校関係者評価総括	改善策	総括評価
福生第一中学校	<p>●学力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「楽しく、分かる、できる」授業をスローガンに実施。生徒設問の肯定的回答率「授業が分かりやすい」88.0% (昨年度比+2.6増)、「授業に前向きに取り組んでいる」86.0% (同 0.6P増)、「授業で分からないことを調べたり、聞いたりして、解決しようとしている」73.4% (同 1.9P増)。 ・全国学力調査 (国語、数学) は昨年度と同様で全国平均並み。基礎・基本の定着、個別最適な学習、学習意欲の更なる向上が課題。 ・「学びの杜」開催日増や市立図書館の放課後利用など環境整備。 ・一人一台端末は日常的に利用・更なる効果的な活用推進が課題。 <p>● 健全育成 (道徳教育、生活指導・進路指導、特別活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誰一人取り残さない教育の実践」を全教職員で推進。「学校は楽しい」87.4% (同 2.9P増) ・「心のアンケート」を毎学期初に実施し、生徒把握と相談しやすい環境作りを推進。生徒設問「相談できる友達や大人がいる」87.4% (同 2.6P増)、「先生たちは、生徒一人一人の良いところを大切にしてくれている」82.0% (同 2.3P増)。 ・いじめ、不登校対応については、毎学期の調査、教職員の研修、不登校対応教員や外部機関との連携で、早期発見、早期対応、継続指導を推進。 ・「自分の進路や将来について考えている」75.4% (同 0.7P増)、更なるキャリア教育の充実が課題。 <p>●健康・体力づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活手帳」を活用し、食事、睡眠など望ましい生活習慣の確立を推進。歯みがき指導は、生徒保健委員会主催の歯みがき推進を実施。外部人材講師による食育講演会を実施。 ・外部講師を招いてアルティメットを実施、男女共習で健康的な体づくり、生涯スポーツへの興味・関心を向上。 <p>● 特色ある学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒による「主体的な」教育活動を推進。「主体的に考え行動している」80.0% (同 2.5P増)、「学校行事に積極的に参加し、達成感を得ている」92.3% (同 2.7P増)。 <p>● 学校運営 (特別支援教育を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用によるペーパーレス化と会議時間短縮を実施。 ・校内外研修、全教員研究授業実施等による指導力の向上。 ・学びの多様化学校、校内別室、外部機関の連携、支援体制強化。 <p>●家庭・地域等との連携 (信頼される学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一中校区CS委員会を開催、情報共有と活動連携推進。 ・三校交流推進計画作成、新5分科会による小中連携を推進。 	<p>●学力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基礎・基本の定着」と「生きて働く確かな知識の習得」のため、ドリルパーク、デジタル教科書等一人1台端末の活用、単元を見通した学習カード等の活用の推進。授業での学びを既存知識や生活で活用できる知識との関連付けの推進。 ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を推進し、学力及び学習意欲の向上の推進。 <p>● 健全育成 (道徳、生活・進路、特活)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生命尊重、他者理解と社会貢献の意識の醸成。 ・「道徳の時間」を要として、全教育活動において道徳的判断力と態度の育成。 ・人権教育を推進し、生徒、教職員の人権意識の更なる向上を推進。 ・キャリア・パスポートの効果的な活用を推進し、4つの基礎的・汎用的能力を系統的に育成。 <p>●健康・体力づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活手帳」を活用した望ましい生活習慣の更なる確立を推進 <p>● 特色ある学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事と他の教育活動との連携、推進とリーダーの育成を実施。 <p>● 学校運営 (特別支援教育を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の更なる効率化と校務分掌の整理。 ・学びの多様化学校分枝化令和8年4月開校に向けた準備。 <p>●家庭・地域等連携 (信頼される学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CSを核とした地域人材の効果的な活用。 ・9年間の学習習慣と生活習慣の具体的な取組の更なる推進。 	<p>●学力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて学べる学習環境づくりを進める。 ・家庭学習習慣の確立を引き続き進める。 ・塾に行けない生徒への支援の周知 <p>● 健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも前向きで明るい生徒を支援している。 ・挨拶がよくできる。 ・楽しそうに通学している。 ・親しみやすさが度を越している言動が見られることがある。 <p>●健康・体力づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体が綺麗に保たれていて掃除されている。 <p>● 特色ある学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自発的に活動できるような環境にある。 <p>●家庭・地域等連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事、防災訓練等に積極的に参加するように促してほしい。 	<p>●学力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市「学び方スタンダード」を活用した学習環境づくりの推進。 ・生活手帳を活用した家庭学習習慣の確立と、放課後市立図書館の活用の更なる充実 ・スタディアシストの広報活動の充実 <p>● 健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳的実践力の充実、適切な言葉の活用力の育成 <p>●健康・体力づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健、美化活動の一層の推進 <p>● 特色ある学校づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体性の更なる育成 ・生徒意見を取り入れた決まり等の見直し。 <p>●家庭・地域等連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市総合防災訓練の組織的参加推進。 	<p>教育目標「共生」を重点として教育活動を推進した。教育活動アンケート生徒設問で、19項目中18項目において昨年度より肯定回答率が向上した。今後も肯定的回答が得られなかった生徒を含め、全ての生徒が安心して楽しく通学できる教育活動の充実を図る。学習指導においては、朝読書の時間を活用し、落ち着いた雰囲気の中で一日を開始し、主体的に学習に取り組む態度を育てている。今後は、個別最適な学びの実現に向けた取組を一層推進する。進路指導においては、キャリア・パスポートや生活手帳の更なる活用を図、生徒一人一人が自分の進路や職業について主体的に探究し、将来に夢や理想を抱いて学校生活を送ることができるよう支援する。開かれた学校づくりの推進に向け、CS委員会等と連携し、ボランティア活動等を実施した。教育活動の周知を図るため、学校ブログの毎日更新に努め、アクセス数は150万回を超えた。今後は、保護者や地域の方々と目指す方向性を共有しながら、「全ての教育活動において、一人の生徒を大切にする理念が貫かれ、実行する学校」、「生徒一人一人が夢や理想をもち、主体性を発揮し、豊かな人間性を開花させることができる学校」づくりを推進する。</p>

